

令和4年度 第1回 学校関係者評価委員会 議事録	
開催日時	令和4年7月6日（水）17時00分～19時00分
開催場所	東京工科自動車大学校世田谷校301教室
参加委員 （★委員長）	★佐藤 久郎・大越 秀一・佐藤 学・三羽 和彦・長岡 正人・小野 宗憲 欠席者、井組 浩紀（委任状）
参加事務局 会議録	佐藤 康夫・武井 和則・麻野 利治 【次 第】 日 時 令和4年7月6日（水）17:00～19:00 会 場 東京工科自動車大学校世田谷校 301 教室 - 開会・校長挨拶 東京工科自動車大学校世田谷校 校長 佐藤 康夫 - 委員会成立の確認（事務局） - 議長・書記の選出（事務局案） - 議事（議長） - 議案1 前回議事録確認についての質問等 - 議案2 令和3年度 自己点検評価について - 議案3 令和3年 事業計画 実績報告 - 就職 - 募集 - 履修について（進級・卒業・退学） - 教職員FD - 報告 令和4年度事業計画と取り組み内容 - 事業計画 - 募集 - 就職 - その他 - 意見交換 - 事務連絡 - 閉会 <配布資料> ・議事次第 【資料A】 ・令和3年度 第2回学校関係者評価委員会議事録 【資料B】 ・令和3年度自己評価点検報告書 【資料C】 ・令和4年度 第一回学校関係者評価委員説明資料【資料D】

	1. 開会・校長挨拶（世田谷校：校長） 2. 委員会成立の確認（事務局） 会則第 5 条に基づき、出席者が委員総数の過半の出席を満たしているため成立していることを確認した。 西川委員が異動のため、新任の株式会社ヤナセ長岡委員を紹介した。 3. 議長選出 事務局より委員の卒業生、佐藤氏を書記は事務局が代行することで、承認され、以後進行は議長による。 4. 議事（議長） 議案 1 前回議事録の確認についての質問等（事務局） 事務局より既に委員に送付してある議事録についての確認が行われた。 委員からの質問事項は無く、議案 1 について審議がなされ承認された。 議案 2 令和 3 年度 自己点検評価について（事務局） 令和 3 年度自己点検評価について、評価は令和 2 年度より少し上がっているが、過去にはもっと高い評価の時もあり、取り組みを強化していきたい。 議案 2 についても承認された。 議案 3 令和 3 年度 事業計画 実績報告（事務局・校長） I.就職 就職内定目標については、学校独自の目標を掲げており 8 月末 100%としている。 目標を達成するために、4・5・6・7 月と月の目標を掲げている。 表にある通り 8 月末 100%を報告させていただきます。 特徴的学科である 1 級自動車エンジニア科のメーカー系目標を 75%と掲げているが、21 名中 15 名のメーカー系就職で、71, 4%と残念ながら 75%には達していないが、目標に近い結果ということで大きな問題は無いと考えます。 メーカー系就職については、若干コロナの影響で滞った企業もありその影響があったと判断をしている。 就職については、ほぼ目標通りであった事を報告させていただきます。 II.募集 令和 3 年度入学者については減少した。これはコロナによる入国できない留学生の影響が大きい。また、夜間課程を 3 年制から 2 年制にするため、一時募集を停止したため、夜間の入学生がゼロであったことも影響している。 令和 4 年度の入学生については、93 名の入学となり昨年度より増となったが、目標の 130 名には達していない。
--	---

やはりコロナの影響で留学生の減少が影響している。
今年度も引く続き厳し状況が続くと予測される。
夜間課程は、整備士不足から資格を持たない社員を入学させる状況が増えてくると考え、3年課程から2年課程に変更した関係で目標を上回った。
しかし、メルセデス・ベンツコースや整備科の入学者は減少しているため、今年度の課題として取り組んでいる。

III. 国家資格

例年通り国家2級整備士については100%を達成している。
1級については、筆記試験、口述試験において90%の目標を掲げているが、世田谷校は筆記試験85.7%(3名不合格)、口述試験81%(1名不合格)で今年度は目標に達していない。1級の合格率も全国的にも年々上がっている事から、反省をしなければいけない。また、不合格要因を調査してあるが今年度に活かすようにしていく。

IV. 履修について

退学率については6.0%で例年よりは良い数字であるが、目標の5.0%には達していない。
コロナの影響で帰国した留学生の影響もあるがそれだけではなく、学校の教育に於いては、学生のモチベーションを上げ卒業まで導く指導を行わなくてはならず、進路変更は学校の責任であると考えます。

V. 教職員FD

教職員の研修に関しては、学生指導力・教育力を向上させるために外部団体や企業による研修に参加している。授業の日程では中々参加が困難なため、夏休みや春休みなどに開催される研修を中心に参加をしている。

・議案3についての質疑

質問. 1級自動車エンジニア科の募集目標に対しての入学が少なかった原因は何かあるのですか(委員)

回答. 目標設定については、国土交通省で1クラス25名までと規定があり、学校の目標としては2クラスの募集を行い4年間の在籍を増やしたいという考えがあり33名は最低目標として設定している。
今年度1クラスとなってしまった理由としては、まだまだ知名度が伝わっていないことが要因であると考えます。反応はあるが見学に来ない地方の方もおり、コロナ禍以前の様な人数は見学から出願に繋がらない状況。
コロナの状況が改善されれば、33名という目標は、届かない数字ではないと考えている。(事務局・校長)

	質問. 募集についてどの様に高校訪問を行っているか。(委員) 回答. 学園に広報本部があり、その中の入学相談室が担当している。 エリアごとに担当者を決め、高校の進路担当者への訪問や高校での進路ガイダンスに参加し、学校での見学会に誘導している。(事務局・校長) 質問. 口述試験で不合格は聞いたことが無いのですが、何か原因は把握していますか。(委員) 回答. 筆記についてもそうですが、コロナ禍で会場の貸し出しが中々ないため試験に適した会場でない。卒業生によっては会場に入った瞬間にかなり緊張してしまった状況。 口述試験においても会場に入った瞬間に緊張してしまい、普段通りの言葉が出てこなかったと報告を受けている。 国家試験対策の口述訓練において、正しい回答や対応ができるだけでなく、場の緊張感への耐力も養成する訓練も必要である。が今後の課題にしたい。 議案 3 について承認された。 5. 報告 令和 4 年度事業計画と取り組み内容 (事務局) I. 数値目標 目標数値目標について、3 校共通目標が報告された。 II. 募集 今年度出願目標は 103 名、入学目標は 97 名との報告がされた。 III. 就職 就職目標については、例年同様 8 月末 100% になっている。 特徴学科である 1 級自動車エンジニア科については、6 月末で 100% 内定が決まっており、メーカー系就職 77.8% で 75% 以上の目標を達成している事が報告された。 IV. その他 ・高度教育無償化 高度教育無償化更新については、更新資料の提出も既に完了しており、7 月 1 日にホームページに公開している。ただ一部訂正がある為、再度更新を行う予定であることを報告した。 ・職業実践専門課程 職業実践専門課程については、情報公開が 7 月 31 日となっており、現在更新準備を行っている事を報告した。 新任委員もいるため、事務局より職業実践専門課程についての説明と更新資料について簡単な説明がされた。 ・主な年間スケジュール 令和 4 年度小山学園教育日程（実施済み及び予定）が報告された。
--	--

6. 意見交換

特に質問等でないため、事務局より各委員のコロナ禍での現状について質問し、各委員より現状の報告を頂いた。

特に委員の自治会会長より、学生のボランティア活動についての協力について御礼と活動中の報告がされ、学校の地域への貢献について確認が出来た。

6. 事務連絡

次回、令和4年度 第2回学校関係者評価委員会は、令和4年11月10日木曜日実施との連絡が行われた。

7. 閉会

令和4年度第1回学校関係者評価委員会が閉会された。

以上

委員会風景

